

第 4 回 UNI Apro 地域大会
2015 年 12 月 7～8 日
マレーシア・クアラルンプール

ニュージーランド・ファーストユニオンによるバニングスウエアハウスへの取り組みに対
する連帯支援声明
提出：UNI Apro 商業部会

背景

バニングスウエアハウスは、オーストラリア及びニュージーランドにある小売店チェーン K
マートやコールズなどを所有するオーストラリアの大手複合企業ウェスファーマーズが所
有する小売企業である。

ニュージーランドで操業するバニングスは過去 2 年間で利益を 6 倍近く伸ばした。

2015 年 6 月よりファーストユニオンはバニングスとの団体協約を再交渉しようと協議をし
ている。これら交渉の中で、バニングスは過去数年間に渡り実施されている現在の協約を
破棄し、これまでは双方の合意に基づいたシステムによってのみ変更を許された固定の就
労時間の代わりに不安定な就労時間制度と能力給を導入しようとしている。また、技術や
サービスに基づいた賃金制度の代わりに若年者（Youth）レートの導入も望んでいる。

これに鑑み過去 2 ヶ月間に渡りニュージーランドのバニングス従業員は、他労組の組合員
や顧客らの支援のもと数々のストライキ行動を起こしてきたが、未だ企業側の態度は変わ
らない。2015 年 12 月 16 日、バニングス労組は総動員にて各地で職場停止会議を敢行し、
野党からの支持政党も労働者を支援するために参加する。

動議：

第 4 回 UNI Apro 地域大会は、小売大手のバニングスウエアハウスにおいて、固定就労時
間を軸にディーセントワークを勝ち取るべく闘っているニュージーランド・ファーストユ
ニオンを支援すると共に、UNI Apro 及び UNI からバニングスへ現在の団体協約及びディ
ーセントワークに関する ILO 原則に基づき再度ファーストユニオンとの建設的な交渉を再
開し、不安定な就労時間や能力給などの反労働者的要求を取り下げる呼びかけをするよう
要請する。